氷川町20周年記念ソング「あかりがともる」 作曲者に聞く、曲に込められた想い



iima (イーマ)

永山マキ (vocal) &イシイタカユキ (guitar) による 「日常がちょっと違った景色に見えてくる」 ような言葉と音を追求する音楽ユニット。 ソロ活動やバンド [モダーン今夜] での活動を経て、 2016年にiimaを結成。

映画やCMへの楽曲提供も多く、 広告賞グランプリなど多数受賞。 さまざまなイベントを企画し、 東京と福岡を拠点に全国で活動中。

曲に込めた想い

昨年の夏、町長や町の人と話す機会がありました。町長が 話された「一番を目指さなくていい、普通に生活できること が大事という言葉が心に残り、「生まれたまま、そのままの 自分を支えてくれる町」だと感じました。また、ある家族から、 自治会が頑張っている話を聞き、この町には人から人へ確か に紡がれていくものがあると感じました。

「ゆっくり」という歌詞には「自然に、自分らしく」という 気持ちが込められています。また、「あかり」は強い明るさでは なく、灯台のように誰かを見守り支えてくれていることを表し ています。子どもや若い人だけではなく、伝統を繋いできた 大人の存在がいかに大事かを歌詞から感じられます。

この曲は、「火(ひ)の国」「氷(ひ)川」に由来する「火」と、 氷川の 「水」が同居する、静かでゆったりしているけれど芯が 強い、そんな曲になったと思います。

好きな歌詞は?

イシイタカユキさん・・・「あの子の心にもあかりはともる」 強いあかりではなく、心に優しい灯がともる感じが好きです。 永山マキさん・・・「今日も一日わたしを生きた」 自分の人生を生きたことを振り返る場面が素敵です。

氷川町の印象

のんびりと、ゆったりとしています。 梨がすごくおいしくて、立神峡が綺麗でした。 火打石も興味深かったです!



記念ソングはこちらから視聴できます

▼ スローテンポ版 (ドキュメンタリームービー)





▼ アップテンポ版





氷川町合併20周年記念式典



10月1日永、氷川町誕生から20周年のこの日、氷川町 文化センターで記念式典が催されました。

式典では20周年記念功労者表彰、自治功労者表彰、 社会体育表彰のほか、平岡ルイス氏へ町民栄誉賞の表彰 がありました。また、友好町である大空町の松川町長から、 2町のマスコットキャラクターのぬいぐるみが記念品とし て贈呈されました。

その後、氷川町のPR動画披露、町の新たなブランド マークの発表、そして、アーティストiimaによる氷川町20 周年記念ソングのライブがあり、式は歓びに包まれなが ら閉会しました。



松川大空町長と藤本氷川町長



▲町民栄誉賞を受賞された 平岡ルイスさん

被表彰者一覧 (敬称略)

町民栄誉賞

消防団員 川町合併20周年記念式典

記念式典被表彰

表彰を受ける太田篤洋さん